



平成 28 年 5 月 6 日

各 位

会 社 名 名古屋鉄道株式会社
代表者名 取締役社長 安藤 隆司
(コード：9048、東証・名証各第一部)
問合せ先 専務取締役広報部長兼
総務部長 柴田 浩
(TEL. 052-588-0813)

当社子会社（名鉄運輸株式会社）の繰延税金資産の計上 及び特別利益の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である名鉄運輸株式会社が、別紙のとおり「繰延税金資産の計上及び特別利益の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ」を本日公表しましたので、お知らせいたします。

当該修正を含めた当社の通期連結業績につきましては、現在集計中であります。平成 28 年 5 月 10 日に予定している、当社の平成 28 年 3 月期決算発表時に公表させていただきます。

以上



平成 28 年 5 月 6 日

各 位

上場会社名 名鉄運輸株式会社
代表者 代表取締役社長 柴田 雄己
(コード番号 9077)
問合せ先責任者 取締役経営管理本部副本部長兼財務部長兼関連事業部長
川松 昌市
(TEL 052 - 935 - 5721)

繰延税金資産の計上及び特別利益の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期決算において、繰延税金資産の回収可能性の見直しに伴い法人税等調整額を計上するとともに、退職金制度改定により特別利益を計上することいたしました。また、平成 27 年 11 月 4 日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしますのであわせてお知らせいたします。

記

(1) 繰延税金資産の計上について

当期及び今後の業績動向等を勘案し、当社の繰延税金資産の回収可能性につきまして慎重に検討いたしました結果、繰延税金資産を追加計上する予定であります。これに伴い個別・連結決算共に法人税等調整額を△910 百万円計上し、同額当期純利益が増加する見込みです。

(2) 特別利益の計上について

当社は退職一時金制度、確定拠出年金制度及び前払退職金制度を設けており、平成 28 年 3 月 1 日付で退職一時金制度の割合を引き下げ、確定拠出年金制度及び前払退職金制度の割合を高める制度改定をいたしました。本制度改定により個別・連結決算共に特別利益として 406 百万円を計上する見込みです。

(3) 業績予想の修正について

・平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	92,000	3,300	3,400	3,200	131.76
今回修正予想(B)	91,200	4,000	4,100	4,200	172.93
増減額(B-A)	△800	700	700	1,000	
増減率(%)	△0.9	21.2	20.6	31.3	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	90,852	2,812	2,883	1,807	74.40

・平成 28 年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成 27 年4月1日～平成 28 年3月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	55,000	2,000	2,200	90.57
今回修正予想(B)	54,300	2,200	3,000	123.52
増減額(B-A)	△700	200	800	
増減率(%)	△1.3	10.0	36.4	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年3月期)	53,998	1,601	1,013	41.72

・修正の理由

通期の個別・連結業績予想につきまして、売上高は引越部門の営業政策の見直しに加え、個人消費の低迷等により貨物取扱量が減少し、前回予想を下回ることとなりました。一方、営業利益及び経常利益は、燃料費が想定を下回ったことや運送委託料等の経費削減により当初見込みを大きく上回る見通しとなりました。加えて、上記(1)繰延税金資産の計上及び(2)特別利益の計上等により、連結決算の親会社株主に帰属する当期純利益及び個別決算の当期純利益は、前回公表数値を大きく上回る見込みであります。

以 上